

またたび注意。

くうちの猫は酔うとキスが止まらないく

同人音声サークル『ウラオモテ』

【緩くてふわっふわな喋り方を意識】

主人公の家。夜。

ソファーに座ってテレビを見ている主人公に、
シズクが横から絡んでくる。

シズク、既にとろとろに酔っている様子。

少しふらふらしながら主人公のお腹にうずくまる。

《右斜め遠くから来て、正面下 お腹にうずまる》

シズクー
「んーふああ〜…♪ んーみゆうう……」

(うずまったままー呼吸)

シズクゝ
「……(深呼吸)……」

《見上げる》

シズクω
「ん〜?」

《うずまる》

シズク彡
「ん〜…♪ 飲み過ぎたあ〜♪」

【セリフに合わせて、お腹で自由に動く】

シズクㇿ
「んはは♪ そーだねえ…♪ グラス半分の半分で
よかった」

シズクの
「やー口でよかったかも。おしゃけやばい……」

シズクゝ
「あ〜…♪」

《見上げる》

シズク 8 「えーでも聞いて?」

シズク 6 「またたびのお酒、すつつつこい美味しかったあ」

《うずまる》（返事の『うん』を伸ばした感じ）

シズク 10 「ん〜」

シズク 11 「だからしょーがないんだあ。飲み過ぎても」

シズク 12 「しよがないい」

シズク 13 「（囁き）しよがないーい……」

頭を撫でられる。

シズク 14 「ん、あ……はああ……♪」

シズク 15 「んー、もつと撫でてえ」

シズク 16 「（囁き）んにやーそこそこそこそこ……」

シズク 17 「さっすがご主人撫でるとこ分かってるう〜」

幸せで笑うし、笑ってる自分に笑う。酔っ払い。

シズク 18 「んははははは♪ あは♪ ははは♪」

シズク 19 「やーごめん、なんか、あはっ♪」

シズク 20 「んや、くすぐったいんじゃないやなくて。や、くすぐったいのもあるけど。あるけどね？ 待ってね？ んふ、あの、今の私って……あははは、絶対やばい♪♪ あはははは♪」

顔を埋めてとろける。

シズク 21 「あ〜〜〜♪ んむう〜〜♪」

【お腹で自由に動くアドリブこのあたりまで】

幸せそうな猫鳴き。

シズク 22 「んーみやああ♪ みやああう♪」

《見上げる》

シズク 23 「はあ〜…♪」

シズク 24 「ごめんねえ？ 酔っ払い猫で」

シズク、主人公の腰に座って目の前へ。

《上体を起こして 正面/10cm に》

シズク 25 「（動く呼吸）……くす♪」

《正面/0cm 近づいて軽くキス》

シズク 26 「ん……ちゅ……（一呼吸）……んー、ちゅ」

シズク、主人公を焦らす。

シズク 27 「《チラつと後ろ見る》あーテレビ見てたよね。

《右耳に抱きつきながら》いいよまだ見てて」

シズク 28 「（吐息）……（囁き）邪魔しませ〜ん」

シズク 29 「そー。人として成長してますから〜」

シズク 30 「猫の時の私とは違うんです〜」

耳の周りをキス。

シズク 31 「（吐息）ちゅ……ん、ちゅ」

シズク 32 「あーいいいよいいよ気にしないで〜。勝手にやってるだけだから〜」

シズク 33 「んちゅう……ちゅっんちゅ……はあ、ちゅっちゅ」

シズク ㍻
「ご主人を邪魔しない猫っ……ああなんて偉いんだ
私は〜」

シズク ㍻
「いつもならもう『テレビ見るのやめて私私私〜』
って構うのにい」

シズク ㍻
「で撫でてもらったら、『はい満足しました』って、
離れちゃうの」

シズク ㍻
「そーんないつもの私と比べたら、あーもう、
あーなんて偉いんだあ困っちゃう」

耳たぶはむはむ。吐息と無声音メイン。

シズク ㍻
「……はあむ……ちゅ、んちゅ……はむ、ちゅ」

シズク ㍻
「（囁き）偉いから撫でてよ」

シズク ㍻
「（囁き）……もつと」

はいはい笑、と撫でられる。

シズク ㍻
「んふはは♪」

シズク ㍻
「ありがとう」

シズク ㍻
「（囁き）気持ちいいよ？」

シズク ㍻
「はあ……ちゅ、んちゅ……はむ、はむ、ちゅ……ん、
ちゅ……はあ、むっ……はあ、むっ……ふふ♪
はああ〜、むっ……ふふ、ちゅ……はむ、ちゅ」

ふわふわなシズク、今度は愛を伝え始める。

シズク ♪ 「（一呼吸）」

シズク ♪ 「じしゅじーん……」

シズク ♪ 「ん〜」

シズク ♪ 「すきい」

シズク ♪ 「……うん」

【ここから無声音。ゆっくり、じつとりと】

シズク ♪ 「だいすき……♪」

シズク ♪ 「ちゅ……♪ すき……♪」

シズク ♪ 「だーいすき……♪」

シズク ♪ 「ん、ちゅ……はあ、ちゅう」

（ここは有声）

シズク ♪ 「んふ♪ 気にしないで？ どーぞテレビ見ててくだ
さあい」

シズク ♪ 「ちゅ……ん、ちゅ……はあ……ちゅ、はああ」

シズク ♪ 「すーき」

シズク ♪ 「じしゅじんだいすき♪」

シズク ♪ 「（吐息）……けっこんしよ……？」

シズク ♪ 「あいらびゅ〜……♪」

【ここまで無声音】

シズク ♪ 「くすくす♪ ん〜?」

シズク ♪ 「さあどこで覚えたんでしょーねえ〜」

《正面／＼に動きながら話す》

シズク 82

「えーでもね。まだ分かんない。結婚とか」

《左耳に抱きつく》

シズク 83

「あごめんね、テレビ見てるよね」

シズク 84

「くすくす♪ いいのいいのいいの。私偉いから。

偉い猫は、ご主人の邪魔しないの」

シズク 85

「だめ見てて。ご主人がテレビ見てないと

チューできないじゃん」

シズク 86

「（吐息）ちゅ……はあ、ちゅっちゅ、んちゅう」

シズク 87

「それとお」

シズク 88

「（囁き）我慢できなくなっちゃった？」

シズク 89

「（吐息）」

シズク 90

「ごめんね。酔っぱらってて。よく分かんない」

シズク 91

「ちゅ……はあ、ちゅ……はむ、ちゅ……はあゝむ、

ちゅうう……はあ、ちゅ……ちゅっちゅ」

シズク 92

「じゃあぎゅーってしててよ」

シズク 93

「あったかいよ？」

シズク 94

「はあ、ちゅ……はああ、ん、ちゅ」

シズク 95

「ご主人のお耳も……あったかい」

シズク 96

「はあ、む……ちゅう」

シズク 97

「耳たぶあったかい」

シズク 98

「はむ、はむ、あむ、あむ、あむ……♪ ふふ……♪

はああ、むっ……あむ、ちゅ……んちゅっちゅ……♪

はあむ、ちゅ……あむあむあむあむ……♪ くす♪」

にやにや。

シズク 79

「どうしたの〜?」

シズク 80

「あーいいですいいですテレビ見てくださあい」

いい加減にしろー、と諭される

《正面/100%に動きながら話す》

シズク 81

「あははは♪ ごめんなさい♪」

《口元に近づいてキス》

シズク 82

「ん〜…ちゅ♪」

シズク 83

「ん、ちゅ…♪ ちゅ…はあ…ちゅっ♪」

シズク 84

「甘い匂いする」

シズク 85

「うん」

シズク 86

「ちゅっ♪」

シズク 87

「お酒っぽいけどー、ふわあって匂い」

シズク 88

「マタタビ? ご主人の匂いかも」

シズク 89

「ふふ…ちゅ…ん、ちゅ」

シズク 90

「頭ふわふわする…♪ んーちゅ」

シズク 91

「今のご主人ね…大好きな匂いする」

シズク 92

「うん」

キス魔が加速する。

シズク 93

「ちゅ、ちゅ…んちゅ、ちゅっ♪」

シズク 94

「んふー♪ 大丈夫、もう酔ってなあい。ちゅ…♪

ぜえんぜん酔ってないよ、ちゅっ♪、ちゅっちゅ♪」

見つめ合う。

シズク 95 「……はあ、はあ♪」

甘えんぼな鳴き声。

シズク 96 「んみやああ♪」

シズク 97 「んー、ちゅう……」しゅじゅん……♪ ちゅう♪

ちゅっちゅ♪ はあ……ん……、ちゅっ♪

主人公からキスされる。

シズク 98 「ん？ んっ、ちゅ♪ はあ、ちゅう♪」

シズク 99 「どしたの？♪ ご主人からチューとか……♪

ん、ちゅ♪ ふふ♪ ちゅう♪ ちゅっちゅ♪」

シズク 100 「えへ、何か喋ってよ♪ ちゅっちゅ♪ ん……？

ちゅ♪ んふふひ♪ ねーえ……♪ ちゅ♪

黙らないで♪ ん……ちゅ、ちゅう♪」

シズク 101 「む……♪」

シズク 102 「いじわる♪」

シズク 103 「じゃあ私もご主人の真似する……」

シズク 104 「なんにも喋らないで……、じーっと見てるっ」

得意げな笑顔。

シズク 105 「ふふー」

見つめ合う。甘い吐息に。

シズク 106 「はああ……はああ……はああ……はああ……♪」

シズク 107 「……ちゅ……ちゅう……♪ はああ……♪ ちゅうう♪

はあ、ちゅっちゅ♪ ん……♪ ちゅう♪ はあ、ちゅ、

んちゅ……はああ……ん……♪ ちゅうう♪」

シズク 108 「はあ……はあ……」

□元でぼそぼそとした会話。

シズク 109 「多分……おんなじこと考えてる」

(『分かるよお』語尾下がる)

シズク 110 「分かるよお…♪ パートナーだもん」

シズク 111 「なんか……そんな感じる。 ふふ…♪」

(ほんの軽く部屋を見る)

シズク 112 「んえ〜？ ここだとお掃除大変だよ？」

《右耳に抱きつく》

シズク 113 「……連れてって？ このまま」

シズク 114 「おふと〜ん」

シズク 115 「んや〜だあ離れたくない。歩きたくないですう」

シズク 116 「床冷たいし」

シズク 117 「ご主人あったかいし」

シズク 118 「ね？」

(リスナーの理性を壊せ)

シズク 119 「(吐息)連れてって？ おねがい♪」

主人公、抱えたまま立ち上がる。

シズク 120 「んっ……くすくす♪ カもちい…♪ すごーい」

寝室まで歩く。まだ酔ってて滑舌悪い。

シズク 121 「んあ〜重たいと言わないの〜」

シズク 122 「昔のご主人はそんなこと言わなかったのに〜」

シズク 123 「それでも運動がんばってますよお〜」

シズク 124

「うう……ツナクリームはあ、食べちゃったけどお。
また明日がんばるっ」

ベッドに優しく寝かされる。

「ここは猫鳴きではなくベタ鳴き。柔らかい布団に
寝かされて幸せな声が漏れる。

《正面/30cmに移動。寝かされる風に揺れる》

シズク 125

「んっ……んーにやああ……♪」

シズク 126

「いじわる言うなら寝ちやうよく?。」

《近づかれて口を奪われる》

シズク 127

「くすくす………んー……ちゅ」

シズク 128

「ちゅ……ちゅう」

シズク 129

「んゝ……♪ ご主人の匂い……♪」

シズク 130

「うん……♪ シーツにいっぱい付いてるから……♪」

シズク 131

「ここで寝るの好き……♪」

シズク 132

「ちゅう」

シズク 133

「ぎゅーして?。」

抱かれてとろけた笑みがこぼれる。

《左耳へ、ゆっくり抱かれる》

シズク 134

「んふ、んひへへ♪ はあ、はあ、んはあ……♪」

シズク 135

「（囁き）あったかあい……♪ はあ……♪」

シズク 136 「はあ……ん？ ……んゝ……上がいい」

(形勢逆転、主人公に覆いかぶさる動き)

シズク 137 「はあ、ん、はあ……今日は、私が上……はあつ、
ふう……♪」

《正面/20cm 上体を起こす。ジャケ絵の再現》

シズク 138 「はあぁ……♪」

シズク 139 「ふふ……♪ つかまえたぁ……♪」

《今度はシズクから口を奪う》

シズク 140 「んゝ……ちゅ♪」

シズク 141 「はあ、ちゅっちゅ♪ んー、ちゅ♪」

シズク 142 「(囁き)『しゅじいん♪ ちゅっちゅ♪ はあ、
ちゅう♪ ん、ちゅっちゅ♪ んゝちゅ♪

はあ、ちゅう♪」

はあはあ混じり。

シズク 143 「(はあ)もつと、(はあ)あたたかくなるっか……♪」

シズク 144 「(はあ)うん♪」

(フェードアウト)

シズク 145 「はあ、ちゅ♪ ん、ちゅ♪ んちゅっちゅ♪ はあ、
ちゅう♪ んゝ♪ ちゅう♪ はあ、『主人大好き。
ちゅっちゅ♪ はあ、ちゅう♪ ちゅっちゅう♪
ん、ちゅうう♪」

(1_END 2379文字)

少し場面が進み、ジャケ絵のように

シズクが騎乗位の体勢でピストンしている。

今回はピストン合わせの喘ぎをせず、呼吸と鼻息のみで動きを表現。

《正面/0cm 夢中でキスしながら騎乗位》

シズク 146 「はあ、んちゅれる、れえるちゅ、んっ、んん♪
れえろちゅ、んふー、ふー、んん♪ れえろれる、
ちゅ」

《キスしてない時は、やや上下に動きつつ》

シズク 147 「はあ、はあ、はあ」

【ここでもへべれけ。ゆるい滑舌】

シズク 148 「えへ♪ おちんちんかたあい…♪」

《はあはあしつつ 右耳へ》

シズク 149 「(はあはあ) (囁き) 交尾……気持ちいいね…♪
はあ、はああ♪ ああ、ふう♪」

《正面/20cm 戻る》

シズク 150 「……んっっ」

シズク 151 「ふふ♪ そんなにがつついてるかなあ〜 (はあ)」

《正面/0cm》

シズク 152 「フツーだよお？ (はあ) 全然酔ってない♪」

がつついたキス。

シズク 153

「んむ、ちゅ♪ はあ、んちゅ♪ はむちゅ♪ れる
れるれる♪ ん♪ れる、ちゅう♪ んっ、んっ♪
(鼻息)ふー、れるれるれるる♪ ちゅうう♪」

シズク 154

「(囁き)「しゅじん、(はあ)、べーっして…♪」

舌をしゃぶるようなキス。喘ぎも混ぜつつ。

シズク 155

「はあ……ああゝむっ♪ ちゅう♪ ふふ♪ んちゅ、
ちゅぽ、ちゅぽ、ちゅぶ、ちゅぶ、ちゅぶ、ちゅぽ、
ちゅうう♪ ちゅぽん♪」

《正面/20cm 戻る》

シズク 156

「(はあ) えー出ちやいそっ?」

シズク 157

「じゃあこのまま動く♪ ふふ♪」

《はあはあしつつ 左耳へ》

シズク 158

「(はあはあ) (囁き)「主人の、優しいせーえき
いっぱい出して…? (はあ) あったかあいの、
どっぴゅーっしょっ♪」

シズク 159

「(はあ) 一番奥…♪ (はあ)、んっ、ああ、はあ♪
ん、いいよ♪ 出して♪ ん♪ 出してえ♪」

シズク、追いつてるようにキスしながら、
早いピストン。

《正面/0cm》

シズク160 「はあ、んちゅれるれえるれる♪ ふう、ん、ん、
れる、れえるちゅ♪ んっ♪ れるちゅ♪ んんっ♪
れるれるちゅ♪（絶頂）ん、んんっ♪ んんっ♪」

シズク、中出しを感じながら、ぱちゅんっ、
ぱちゅんっ、と追い打ち。

シズク161 「んっ♪ れるちゅ♪ んっ♪ んっ♪」

《正面/10cm》

シズク162 「えーだめ？ あっ♪ えへへ♪ 出してる時い、
んあ♪ おまんこぺったんしちやだめ？

……ぺっ、たん♪（低）んあ♪」

シズク163 「あはは♪ 中でおちんちんブルってしてるう……♪」

《右耳へ》

シズク164 「んー分かったよおう、じっとするからあ」

シズク165 「（囁き）早くびゅーびゅー終わらせて……もつと
エッチしよう？」

まだまだ興奮させようとするしっこい耳舐め。

シズク166 「はあ、れえる、れえるれる、れえるれるれる♪
（囁き）はーやく♪ れるれるちゅ♪ 中でぎゅーっ
てして、またおつきくしてあげる。れるれえる、れる、
れえる、ちゅ♪ 孕ませて？ ご主人……♪」

復活した主人公、シズクのお尻を掴んで下から
突き上げる。

(一瞬下を見て、耳に戻る)

シズク 167

「あっ…♪ あは♪ あ、んっ、んっ、はあ、はあ♪
わあ、本気モードだあ…♪ はあ、ん、んん♪」

シズク 168

「すっ…い突き上げられてる…♪ (はあ) んっ♪」

やや低めの声。

シズク 169

「ああ…は、ああ…ああああ…♪ きも、ちいよ、
ごしゅじん…♪ あ、ふああ…♪ 中♪ 中すっ…い、
あ、ああ…♪ とけるう…♪ あ、ぐちよぐちよ
されてう…♪ うあああ…♪」

夢中で耳舐め。

シズク 170

「ごしゅじ、ごしゅじいん♪ んちゅれる、れえるれ
ろ、れるれる、んん、れるれえるれろちゅ♪ はあ、
ん、あ、あ♪ れるれえる、れろちゅ、はあ、れる、
れえるちゅれる、れえるちゅう♪ はあ、はあ♪」

【耳元で喘ぐ時は、マイク直を避けつつ】

絶頂に近づく。

シズク 171 「ああちよつと…♪ うあ…♪ あ、来ちやいそう♪
はあ、あ、あああ…♪ んゝ、いつちやう…♪
イっていい？ いい？ イクね？ うん♪」

絶頂する。

シズク 172 「あつ、ああ、はあ…ん、ん…あ、ああ…ああ、
は、あ、あああ…（絶頂）はあああああ♪♪」

突き上げられ続けて、嬉し泣き。

シズク 173 「あ、あ…あ…あ…あ、ああああ♪」「しゅじゅ
ね…♪ あ…♪ ねえ…♪ あ…ああ…♪
いった♪ ああ♪♪ ねえご主人いった♪♪
ああ、ああああ、ああああああ♪♪」

ピストン止まる。低めの声で痙攣。

シズク 174 「あ、ああ…あ、は…あ、う、あ…ああ」
シズク 175 「は、あ…えへへ♪ お返しされちゃった…♪」
シズク 176 「くやちい…♪ んふふふ…♪」

まだまだ酔ってる。ダル絡み。

《正面/10cm 上体を起こして絡む》

シズク 177 「くやじい…♪」

《左耳へ》

シズク 178 「ねえ次一緒に動こ？」

シズク 179 「うん。一緒」

《正面/10cm 上体を起こす》

シズク 190 「はあ、はあ」

シズク 191 「出るう？（はあ）うん♪ 『主人の赤ちゃんほし
っ♪』

《正面/0cm 夢中にキス》

シズク 192 「はあちゅ、んちゅ♪ 『しゅじん♪ ちゅ♪

』しゅじん♪ れるれるちゅ♪ れるれえるちゅ♪」

《正面/10cm》

シズク 193 「私も、はあはあ、ん、んん♪」

シズク 194 「ごめんね？ はあ、えへへ♪ 先に謝っとく♪」

シズク 195 「はあ、んだって。また動いちゃうと思う…♪」

シズク 196 「はあ、せーえき出してる時、ぺったんってするう」

シズク 197 「ん、はあ♪ たまたまさん空っぽになるまでえ♪
おっきいお尻とめないもん♪」

シズク 198 「えへへへ♪」

シズク 199 「おちんちん、泣いちゃうくらい気持ちいいかも。

許してね？ 『ごめんね?』

シズク 200 「うん♪ 私もイク♪」

《正面/0cm キスイキ》

シズク 201 「『しゅじん♪ れるれるちゅ、んん♪ れえろ
れるれるちゅ、んんん♪ れるれろれえるちゅ、ん、
んん♪ れる、ん♪ れろ、んん♪ れるれろ
ちゅううう♪（絶頂）んっ♪♪♪ んんんんん♪♪
んっ♪♪ んんっ♪♪ んんっ♪♪♪♪』

シズク、腰が止まらない。

《正面/10cm》

シズク 202

「ああ、ああああ…♪ ごめ、ああ♪
とま、とまんなあい♪ ああ、お、あああへ♪
イ、イってう、うい、イってうおまんこでッ♪
おちんちんじゅぽじゅぽッ(低)やヴああい…♪」

《正面/0cm 前後不覚》

シズク 203

「(低) あああああ♪♪ (中) っ、っしゅじん♪
ん、ごしゅじん♪ はああれるれるれるるちゅ♪
またイク…♪ んん、ん、ん、ん、イク…♪
んれるれるる♪(高)いくううううう♪♪」

最後の絶頂。痙攣。力んだ吐息。

《正面/10cm》

シズク 204

「はああああああ♪♪ あッ♪♪ ああッ♪♪
はああッ♪♪ あ、ああ、あ…♪ はああ…♪」

《左耳に倒れ込む》

シズク 205

「あ、あああ…はああ…♪ ああ、あ……あああ♪」

シズク 206

「うああ…♪ ぐっちやぐちやあ…♪」

シズク 207

「ああ……はあ、はあ…♪」

《正面／＼〇〇》 ゆっくり起きて、辛うじてキス《

シズク 208

「ん……ちゅ……れる、ちゅう……はあ、ちゅ……
んちゅ……れるれる、ちゅう……はあ、ちゅ……
れる、れる、れる、れる……ちゅうう……♪」

《左耳に倒れ込む》

シズク 209

「はあ……はあ……ふう……はあ……♪」

シズク 210

「マタタビ……気を付けないと……♪」

シズク 211

「ふへ……♪」

シズク 212

「んー分かったじゃあ……今度はあ……
グラスの、半分の、半分、くらいにします……♪」

シズク 213

「反省しましたあゝ……♪」

シズク 214

「……（しばし落ち着く呼吸）……」

シズク 215

「……（囁き）たまになら、いいよね」

シズク 216

「くす♪ だめえ？ えゝ」

シズク 217

「（囁き）気持ちよかったんじゃないの？」

シズク 218

「……むう……♪ 何も言わないのずるい……♪」

《正面へ、見つめ合う》

シズク 219

「（一呼吸）」

シズク 220

「……ちゅ♪」

シズク 221

「私は気持ちよかったよ？ すっく」

なでなで。

シズク 222

「んっ、んん♪ んみやああ♪」

シズク 223

「撫でるのもっ、ずーるーい♪」

シズク 224 「むう〜♪♪ もつと撫でてっ♪」

シズク 225 「んふふふ♪ れる、れえるちゅ♪ んちゅっちゅ♪

はぁ、れるれる、ちゅう♪ はぁ、んちゅ♪ れろ、

れえるれる、ちゅ、んちゅ、れろれる、ちゅう♪」

(2-END 2440 文字)

(ALL_END 4819 文字)